

企画提案の考え方等について

1 ふくしま自治研修センターの特色

当センターは、平成4年の開所以来、県と市町村等とのパートナーシップ形成に寄与するため、県職員と市町村等職員との合同研修を行っています。

また、事務職のほか、技術職（農林・土木系等）、保育士、看護師、獣医技師、消防士、図書館司書、児童福祉司など、多様な職種の職員が合同で行う研修を通して、相互理解、相互啓発、人的交流の促進や職員の視野の拡大と意識改革を図っています。

研修は宿泊を原則としており、研修生が日常の業務から離れて研修に専念できる環境を整えるとともに、生活を共にすることで、研修生同士のネットワークの構築に寄与しています。

2 ふくしま自治研修センターの研修事業

当センターにおける研修事業は、「基本研修」及び「選択研修」に区分されており、研修区分ごとの実施概要は次のとおりとなっています。

① 基本研修（対象年次の職員が必修となる研修）

- ・新規採用職員から管理職の職員までの全職員を対象として、一般職研修と管理者・監督者研修に分けて実施する。
- ・一般職研修は、スタッフ職を対象に、それぞれの対象年代又は職層の職員に共通して求められる意識の醸成及び必要とされる能力の向上を図ることを目的に実施する。
- ・管理者・監督者研修は、新たに管理職・監督職に就いた職員を対象に、それぞれのポストに求められる能力の向上を図ることを目的に実施する。
- ・当センターでは、基本研修で実施する個々のプログラムを「科目」、また、複数の科目で構成される基本研修の一連のプログラムを「研修課程」と称している。

② 選択研修（対象年次の職員が任意で選択できる研修）

- ・県内地方公共団体の人材育成の方針・方策に沿い、又は県内地方公共団体の職員の能力向上の意欲に応じて、基礎的能力から高度な専門能力まで柔軟に時代の変化に対応できる自律型職員に必要な様々な知識の習得又は能力の向上を図ることを目的に実施する。
- ・当センターでは、選択研修で実施する個々のプログラムを「講座」と称している。

3 研修体系再編の背景

日本の人口は少子化により減少傾向にあり、今後急速な生産年齢人口の減少が見込まれることから、深刻な労働力不足が懸念されています。また、本県は、東日本大震災からの復興・創生を切れ目なく推進していく必要があり、今後も時期に応じた対応が継続していくものと思われます。

加えて、新型コロナウイルス感染拡大から、在宅勤務や新たな生活様式への対応を迫られ、これまでどおりに業務を遂行することが困難になりました。

これらの背景から、職員は従来の方法や発想を転換する必要性に迫られている他、一気に進んだデジタル化に対応するなど、環境に適応する能力や、自ら考え変革していく能力が今まで以上に求められています。センターでは、それらに対応する能力を開発するべく、新たな研修体系を構築しました。

4 研修体系再編の考え方

(1) 基本研修について

基本研修（階層別研修）では、その年代に重点的に身に付けてほしい能力に焦点を絞りました。特に、中途採用者の増加や業務内容の高度化から、いくつかの科目において対象年次を下げることにより、これまでより早い段階で能力を開発できるプログラムに再編しました。

また、働き方改革・自治体DXの推進などに対応した視点も新たに設けました。

(2) 選択研修について

選択研修では、基本研修を補完し、またはフォローアップする関係性を意識し、相乗的な効果が得られるよう個々の講座内容を検討しました。職員自身が果たすべき役割や求められる能力を

自覚し、年代や職層に応じた選択研修を受講することにより、段階的に能力向上が図られるよう研修体系の構築を目指しました。

5 企画提案の考え方

(1) 企画提案の対象とする科目・講座について

今回の公募型プロポーザルで企画提案の対象とする基本研修の科目や、選択研修の講座については、別紙3「プロポーザル対象科目・講座一覧」のとおりです。

なお、「提案区分」欄における「一括提案」とは、関連性の高い科目について、一貫した考え方に基づき段階的に職員の能力向上を図ることを目的として、一体的な企画提案を求めるものであるため、分割して提案することは認められません。

(2) 企画提案に関する留意事項について

ア 効果的な研修技法（講義法、討議法、事例研究法、ロール・プレイング等のシミュレーション的技法など）の活用や、経費圧縮の可能性など、効果と効率の両面から総合的に企画内容を検討してください。

イ 別紙2「ふくしま自治研修センター研修業務共通仕様書」に定める研修運営上の基本事項等を踏まえた企画提案としてください。

ウ 他者と共に学ぶ主旨から、短時間の中であっても他者からの気づきを得ることに重点を置きたいため、個人での作業は事前課題として実施させる等、研修時間を有効に活用する方法を検討してください。